

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月14日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 目 守正 (TEL) 083-266-0210
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,749	13.8	746	—	852	738.1	625	—
2023年3月期第2四半期	20,873	3.3	55	△90.1	101	△84.8	11	△97.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,009百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 3百万円(△99.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	71.09	—
2023年3月期第2四半期	1.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,418	10,703	34.1
2023年3月期	26,755	9,932	37.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,703百万円 2023年3月期 9,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.1	740	110.3	840	77.5	620	86.1	70.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	8,910,000株	2023年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	278,585株	2023年3月期	87,810株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	8,798,416株	2023年3月期2Q	8,805,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げにより、個人消費の回復やインバウンド需要が増加し、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、食品業界におきましては、中国向け水産物の全面輸出禁止や円安による原材料価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは昨年4月に「中期経営計画<挑戦>Phase II <<challenge2024>>」(2023年3月期～2024年3月期)を策定し、実行中です。前中期経営計画に引き続き、変化を恐れぬ挑戦を継続し、経営資源の更なる選択と集中による構造改革を推し進めて収益力をより強固なものにするとともに、環境負荷の軽減(温室効果ガス排出量削減や地球温暖化対策)に努めるなど、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献することを目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った食品・飼料の価格改定により237億49百万円(前年同期比13.8%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定による利益率の改善などにより、営業利益は7億46百万円(前年同期は55百万円の営業利益)、経常利益は8億52百万円(前年同期比738.1%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億25百万円(前年同期は11百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性食品素材におきましては、機能性素材エラスチンの海外向け販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

加工食品におきましては、原材料価格高騰に伴う価格改定により、魚肉ねり製品の売上が増加したものの、ハム・ソーセージ等食肉加工品での販売数量の落ち込みにより、減収となりました。

肉類におきましては、豚枝肉相場の高騰に対応するために自社ブランド「霧島黒豚」および国産豚の価格改定により、増収となりました。

これらにより、売上高は110億70百万円(前年同期比0.6%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定や収益性を重視した製造および販売に努めたことなどにより、セグメント利益(営業利益)は4億55百万円(前年同期比689.5%増加)となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、原材料価格高騰に対応した価格改定や養魚用飼料の販売数量増加により、増収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が増えたことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は126億57百万円(前年同期比28.5%増加)となりました。損益面におきましては、価格改定などによる養魚用飼料の利益率改善により、セグメント利益(営業利益)は8億34百万円(前年同期比62.2%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は314億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億62百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比42億58百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が35億79百万円、商品及び製品が3億93百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加（前連結会計年度末比4億3百万円増加）は、主に投資有価証券が5億80百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は207億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億91百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比38億85百万円増加）は、主に買掛金が31億85百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の増加（前連結会計年度末比6百万円増加）は、主にその他に含まれるリース債務が1億23百万円減少したものの、長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は107億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億71百万円増加しました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少が1億32百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を6億25百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は34.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資活動によるキャッシュ・フロー、財務活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、営業活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ2億56百万円増加の8億19百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は8億80百万円（前年同期は22億11百万円の減少）となりました。これは主に棚卸資産の増加額が3億16百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益8億50百万円や減価償却費3億79百万円の計上があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2億79百万円（前年同期は3億23百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が2億32百万円あったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は3億44百万円（前年同期は16億55百万円の増加）となりました。これは主にリース債務の返済による支出1億71百万円や配当金の支払額1億31百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

原材料価格やエネルギーコストの高騰ならびに為替相場リスクや輸出情勢の変化など、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続くと考えられます。

こうしたなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移していることから、2023年5月12日に発表した通期の業績予想に修正はありません。

今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	843,518	1,115,905
受取手形及び売掛金	5,197,262	8,776,455
商品及び製品	2,021,993	2,415,073
仕掛品	2,589,352	2,372,863
原材料及び貯蔵品	2,445,208	2,585,025
その他	892,189	983,408
貸倒引当金	△946	△1,306
流動資産合計	13,988,578	18,247,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,734,153	2,728,236
土地	3,037,357	3,032,437
その他(純額)	2,561,782	2,479,796
有形固定資産合計	8,333,293	8,240,470
無形固定資産	77,723	102,371
投資その他の資産		
投資有価証券	3,544,591	4,125,128
その他	1,717,445	1,597,366
貸倒引当金	△906,036	△894,419
投資その他の資産合計	4,356,000	4,828,075
固定資産合計	12,767,017	13,170,917
資産合計	26,755,596	31,418,343
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,773,254	5,958,869
短期借入金	6,724,735	6,675,177
未払法人税等	101,345	292,590
賞与引当金	235,599	258,644
その他	1,602,335	2,137,471
流動負債合計	11,437,270	15,322,754
固定負債		
長期借入金	1,704,856	1,846,170
退職給付に係る負債	1,911,288	1,898,442
その他	1,770,176	1,647,773
固定負債合計	5,386,321	5,392,386
負債合計	16,823,591	20,715,141

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	2,981	2,981
利益剰余金	5,714,539	6,203,390
自己株式	△58,498	△159,919
株主資本合計	9,074,042	9,461,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842,279	1,224,790
繰延ヘッジ損益	△321	1,465
退職給付に係る調整累計額	16,003	15,472
その他の包括利益累計額合計	857,961	1,241,728
純資産合計	9,932,004	10,703,202
負債純資産合計	26,755,596	31,418,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	20,873,710	23,749,298
売上原価	18,453,757	20,774,133
売上総利益	2,419,952	2,975,164
販売費及び一般管理費	2,364,425	2,228,710
営業利益	55,526	746,453
営業外収益		
受取配当金	60,382	73,115
その他	89,429	123,265
営業外収益合計	149,812	196,380
営業外費用		
支払利息	58,529	51,882
その他	45,048	38,060
営業外費用合計	103,577	89,943
経常利益	101,762	852,890
特別利益		
固定資産売却益	701	1,396
投資有価証券売却益	926	—
特別利益合計	1,627	1,396
特別損失		
固定資産除却損	8,651	3,332
災害による損失	44,303	—
その他	33	—
特別損失合計	52,989	3,332
税金等調整前四半期純利益	50,400	850,954
法人税、住民税及び事業税	68,272	269,923
法人税等調整額	△29,186	△44,460
法人税等合計	39,085	225,463
四半期純利益	11,314	625,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,314	625,491

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	11,314	625,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,846	378,691
繰延ヘッジ損益	△4,740	1,786
退職給付に係る調整額	△1,159	△531
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,695	3,819
その他の包括利益合計	△7,748	383,766
四半期包括利益	3,565	1,009,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,565	1,009,257

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50,400	850,954
減価償却費	366,593	379,689
持分法による投資損益(△は益)	△17,568	△32,720
固定資産売却損益(△は益)	△667	△1,396
固定資産除却損	8,651	3,332
株式報酬費用	7,703	6,547
投資有価証券売却損益(△は益)	△926	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	456	△11,256
賞与引当金の増減額(△は減少)	61,898	23,045
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,011	△13,609
受取利息及び受取配当金	△60,395	△73,127
支払利息	58,529	51,882
為替差損益(△は益)	△1,440	22
災害による損失	44,303	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,248,262	△3,703,998
棚卸資産の増減額(△は増加)	△88,947	△316,407
仕入債務の増減額(△は減少)	826,116	3,568,077
未払金の増減額(△は減少)	△147,155	475,620
未収消費税等の増減額(△は増加)	93,346	64,407
未収入金の増減額(△は増加)	△299,041	△410,893
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,110	△6,203
その他	14,879	91,586
小計	△2,313,624	945,552
利息及び配当金の受取額	63,585	76,317
利息の支払額	△58,549	△51,902
災害損失の支払額	—	△28,854
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	97,532	△60,335
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,211,055	880,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△207,902	△232,602
有形固定資産の売却による収入	2,011	7,659
無形固定資産の取得による支出	△2,175	△50,975
投資有価証券の取得による支出	△2,712	△2,620
投資有価証券の売却による収入	2,886	—
資産除去債務の履行による支出	△116,490	—
その他	1,004	△1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323,377	△279,606

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,855,000	△30,000
長期借入れによる収入	499,000	499,000
長期借入金の返済による支出	△392,968	△392,926
リース債務の返済による支出	△174,850	△171,359
配当金の支払額	△131,014	△131,351
自己株式の取得による支出	—	△117,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,655,167	△344,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,440	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△877,825	256,705
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,350	562,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064,524	819,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,001,563	9,851,017	20,852,581	21,129	20,873,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,030,778	1,030,779	—	1,030,779
計	11,001,564	10,881,796	21,883,360	21,129	21,904,489
セグメント利益	57,757	514,807	572,565	16,378	588,944

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	572,565
「その他」の区分の利益	16,378
セグメント間取引消去	△8,810
全社費用(注)	△524,607
四半期連結損益計算書の営業利益	55,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,070,575	12,657,593	23,728,169	21,129	23,749,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,077,591	1,077,591	—	1,077,591
計	11,070,575	13,735,185	24,805,760	21,129	24,826,889
セグメント利益	455,968	834,774	1,290,743	16,378	1,307,122

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,290,743
「その他」の区分の利益	16,378
セグメント間取引消去	△46,863
全社費用(注)	△513,805
四半期連結損益計算書の営業利益	746,453

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。